

演習 I

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

大脇 淳一

1. 授業の概要(ねらい)

皆さんは、大学を卒業したら、いやが応でも社会の荒波に放り出されます。では、この荒波の中を航海するにあたって、自分を守ってくれるものは何でしょうか？。家族？友人？恋人？会社？。どれも100%確定的なものではありません。どうしよう。。。そんな時、自分を守ってくれる唯一確実なものは、「人間力」です。これまで学んできた専門知識を100%活用できたとしても、人間力がなければ、自分の思いや情熱を相手に伝えることはできないし、信用も得られません。そこで本演習では、プロジェクトやコンペティションに参加することによって、色々な人と関わり、自分の思いや情熱を相手に伝える方法を実践していきます。また、様々なプレゼンツールを知ることや、習得し、実際に手を使ってモノを作り、文献輪読することにより知識をさらに深めることを行います。

2. 授業の到達目標

- ・より広い視野を身につけるための、知識や行動力を習得する。
- ・相手に伝えるための能力(文章力・表現力・コミュニケーション力)を習得する
- ・自分の思いをカタチにする能力(企画力、発想力、表現力)を習得する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・講義への取り組みで100%評価します。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

・新聞や雑誌、インターネット等で、関心の持てる記事などを見つけたら、スクラップをして、自身オリジナルの資料を作ってみよう。

6. その他履修上の注意事項

- ・積極的なプレゼンテーションやディスカッションへの参加を求めます。
- ・やむを得ない理由を除き、無断欠席はしないでください。欠席する場合は必ず事前に担当者にメール等で連絡をしてください。
- ・本演習は、学内外の機関、企業や団体、個人との共同プロジェクトに参加することがあります。
- ・本演習は、校外学習、視察旅行や合宿を実施する場合があります。
- ・本演習は、必要に応じて外部講師(ゲストスピーカー)とワークショップを行う場合があります。
- ・各回の講義は授業内容によりますが、皆さんの希望や進捗状況により、内容や進度、スケジュールは適宜変更します。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 輪読文献、プロジェクト・コンペティションの選定
・文献輪読書例
(マルティン・ハイデッガー Bauen Wohnen Denken)
(古東哲明 ハイデッガー=存在神秘の哲学)
(今和次郎 考現学入門)
(岸正彦 東京の生活史)等
- 【第3回】 ワークショップ①
(自分の部屋の間取りを描いてみよう)
- 【第4回】 文献輪読①
- 【第5回】 ワークショップ②
(折り紙模型を作ってみよう)
- 【第6回】 文献輪読②
- 【第7回】 ワークショップ③
(塗り絵をしてみよう)
- 【第8回】 文献輪読③
- 【第9回】 ワークショップ④
(プレゼンツールを知ってみよう。Illustrator、Photoshop、sketchUp、JWWなど)
- 【第10回】 文献輪読④
- 【第11回】 ワークショップ⑤
(エスキース)
- 【第12回】 文献輪読⑤
- 【第13回】 ワークショップ⑥
(エスキース)
- 【第14回】 文献輪読⑥
- 【第15回】 演習IIに向けて